

令和7年度

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修

(高等学校) 実施細目

## － 目 次 －

1	目的	1
2	研修対象	1
3	実施時期	1
4	経年研修受講者（参加者）者調査（中堅研）	1
5	延期、変更等	2
6	研修の概要	2
7	評価	3
8	研修実施計画書と実施報告書	3
9	配慮事項等	4
10	各種研修の内容	4～5
○別紙		6～8
別紙1	選択研修一覧	6
別紙2	関係文書提出期限一覧	7
別紙3	【記入例】研修実施報告書	8
○様式集		巻末

## 1 目的

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）（以下、「中堅教諭等研修」という。）は、県立高等学校の教諭等として在職期間が11年目の者に対して、能力・適性等に応じた研修を実施し、ミドルリーダーに求められる資質の向上を図ることを目的とする。

## 2 研修対象

本務経験11年目の教諭等及び、本務経験12年以上でありながら何らかの理由で参加していない教諭等（以下「中堅教諭等」という。）を対象とする。

## 3 実施時期

### （1）実施期間

県教育センターで実施する全体研修の実施をもって開始し、原則として翌年1月末までに全ての研修を終了する。

### （2）実施日

原則として勤務日とする。

## 4 経年研修受講者（参加者）調査（中堅研）

学校等は、該当者の有無に関わらず、令和7年3月5日付け R6-40350-05401 にて依頼している「【別紙様式3】中堅研受講者（参加者）調査」を作成し、県教育センターに提出する。

文 書 名	令和7年度「長崎県公立学校経年研修」受講者（参加者）の調査について（依頼）
提出期限	令和7年4月8日（火）
提 出 先	県教育センター所長
提出方法	電子メールで提出する。 送 信 先： <a href="mailto:npec-koukou@pref.nagasaki.lg.jp">npec-koukou@pref.nagasaki.lg.jp</a> （「lg」はエルジー） 件 名：経年研修受講者（参加者）調査（学校名） ファイル名：学校番号 学校名【別紙様式3】

※選択研修については、教諭等は校長等の指導助言を踏まえ、各自主催者が示す所定の手続きで申し込むこと。

## 5 延期、変更等

### (1) 翌年度以降に延期する場合

翌年度以降に延期する者については、参加延期届（様式4）を令和7年4月8日（火）までに県教育センターに提出する。なお、病気休暇、育児休暇、短時間勤務等で参加延期が複数年にわたる場合は、年度ごとに提出する。

### (2) 予定していた研修に参加できなくなった場合

やむを得ず予定していた研修に参加できない事態が生じた場合は、管理職員が県教育センター教科・経営研修課に報告し、参加延期届（様式4）を提出する。

### (3) 当日の欠席、遅刻

当日の欠席、遅刻については、管理職員が県教育センター研修講座担当班に報告する。

- ・欠席の場合…電話で報告し、欠席届を提出する。
- ・遅刻の場合…電話で報告し、遅刻届を提出する。

（欠席届、遅刻届については、[県教育センターWeb サイト](#)よりダウンロードして作成）

## 6 研修の概要

項目		日数	内容
センター研修	全体研修	1日	幅広い見識を養う研修を行い、ミドルリーダーとしての資質向上を図るとともに、研修全般のガイダンスを行う。 対象）教諭等、実習助手、養護教諭
	校種別研修	2日	学習指導等において、ミドルリーダーに求められる実践的な指導力の育成を図る校種別研修を行う。 対象）教諭等
選択研修		1つ以上	研修実施計画書により、自己の課題に応じて研修を行う。 対象）教諭等、実習助手
校内研修	教科研修	1回	所属校において、自己の課題に応じた研究授業及び授業研究会を1回実施する。 対象）教諭等
	メンター研修	通年	「メンター研修実施要領」を参照すること。 対象）教諭等、実習助手
社会体験研修		3日	「社会体験研修実施要領」を参照すること。 対象）教諭等

※教諭等とは、「教諭、助教諭及び常勤講師（臨時的任用及び任期付任用を除く。）」

※養護教諭については、体育保健課の実施要項で確認すること。

※センター研修の講座形態について

対 面：県教育センターにおいて、研修期日に参加する研修 ※事前事後の動画視聴があるものを含む

リアルタイム・オンライン：所属校等において、研修期日に県教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで参加する研修 ※事前事後の動画視聴があるものを含む

オンデマンド：所属校等において、期間内に県教育センターが配信する動画を視聴するなどして参加する研修

## 7 評価

### (1) 事前評価

- ① 中堅教諭等（実習助手も含む）は、「長崎県 教諭等としての資質の向上に関する指標（第2ステージ）」（以下、「指標」という。）を参考に、事前に中堅教諭等資質向上研修（高等学校）自己評価票（様式1）（以下、「自己評価票」という。）を作成する。所属校の校長は、自己評価票をもとに指標を参考にして次の4段階で評価し、評価票（様式2）の1を作成する。

段階	評 価 の 目 安
4	中堅教諭等として、十分満足できる。
3	中堅教諭等として、おおむね満足できる。
2	中堅教諭等として、あまり満足できない。
1	中堅教諭等として、満足できない。

- ② 作成上の留意点

次年度の対象者が異動となった場合、対象者の事前評価が適切に行えるよう、異動先の校長と十分な連携を図る。

### (2) 事後評価

- ① 中堅教諭等（実習助手も含む）は、自己評価票（様式1）を作成する。所属校の校長は、全ての研修終了後、様式1の自己評価票をもとに各中堅教諭等の評価票（様式2）を作成し、中堅教諭等の今後の研修や指導等に生かす。評価の段階は（1）に準じる。
- ② 特記事項
- 評価の根拠となる事由や、参考となる事実があれば記入する。

### (3) 提出

作成した評価票（様式2）は、令和8年2月6日（金）までに、県教育センターに電子メールで提出する（送信先等：別紙2参照）。暗号化等の指示については、別途通知する。

## 8 研修実施計画書と実施報告書

### (1) 研修実施計画書

- ① 作成
- 校長は、関係研修機関等の実施計画等に基づき、各中堅教諭等の実施計画書（様式3）を作成し、計画書に基づき年間の研修を実施する。
- ② 改善
- 校長は、実施の進展に応じて研修実施計画等について、適時、必要な改善を行うことができる。

### (2) 研修実施報告書

- ① 作成
- 校長は、全ての研修終了後、各中堅教諭等の実施報告書（様式3）を作成する。
- ② 提出
- 作成した研修実施報告書は、令和8年2月6日（金）までに、県教育センターに電子メールで提出する。（送信先等：別紙2参照）
- 実習助手の研修対象外の項目欄については、斜線を引いた上で提出する。

## 9 配慮事項等

### (1) 能力・適性等の評価

- ① 校長は、評価項目に沿って中堅教諭等の事前評価票を作成する際、副校長・教頭・各主任等を活用する。
- ② 校長は、事前評価票及び研修計画を作成する際、中堅教諭等の自己評価や意見・希望等を聴取する。
- ③ 校長は、事前評価を必要に応じて中堅教諭等に示すなどして、中堅教諭等の研修に取り組む意欲を高める。

### (2) その他

- ① 研修内容は、各中堅教諭等が能力や適性に応じて自主的に研修を計画し、取組めるよう工夫する。
- ② この細目に定めるものの他、必要な事項は別途定める。

## 10 各種研修の内容

### (1) センター研修（全体研修）＜1日＞

職種	講座 番号	研修講座名	期日
教諭等 実習助手	セ4	【リアルタイム・オンライン】 県立高等学校中堅教諭等資質向上研修（11年目） （全体研修）	4/22（火）
養護教諭	セ5	【リアルタイム・オンライン】 中堅養護教諭資質向上研修（11年目）（全体研修）	4/22（火）

### (2) センター研修（校種別研修）＜2日＞

職種	講座 番号	研修講座名	期日
教諭等	セ57	【対面】 県立高等学校中堅教諭等資質向上研修（11年目） （校種別研修）	10/2（木） 10/3（金）

○ 水産、書道等は、県教育センターで開設できない場合や異なる日程になる場合がある。

### (3) 選択研修＜1つ以上＞

- ① 目的  
中堅教諭等が、自ら設定したテーマによる研修を通して、教員としての自己の資質の向上を図る。
- ② 内容  
中堅教諭等は、自己の課題を踏まえ、校長等の指導助言等により、別紙1から県教育センター又は他機関等が実施する研修講座等を1つ以上選択して参加する。（該当者研修を選択研修参加とみなすことができる）。

### (4) 校内研修（教科研修）＜1回＞

- ア 所属校において1回の研究授業及び授業研究を実施する。可能な限り、他教科も参加して行う。
- イ 授業研究では研究授業の内容にとどまらず、よりよい指導の在り方について共同で研究する。
- ウ 近隣の中学校にも公開し、合同で授業研究を実施することが望ましい。

- (5) 校内研修（メンター研修）＜通年＞  
「メンター研修実施要領」を参照すること。
- (6) 社会体験研修＜3日＞  
「社会体験研修実施要領」を参照すること。

## 選択研修一覧

- ア 県教育センター主催の研修講座等
- イ 教育庁各課・室、人権・同和対策課主催、共催の研修会・教育課程説明会等
- ウ 文部科学省が主催、共催、委託する研修等
- エ 長崎県高等学校・特別支援学校教育研究会の「各教科等別研究部」「領域別研究部」が主催する研究会
- オ 「長崎県特別支援教育研究会」「長崎県肢体不自由教育研究協議会」「長崎県病弱教育研究会」が主催する研究大会等
- カ 市町教育委員会主催の研修会
- キ 教職員支援機構、国立特別支援教育総合研究所主催の研修
- ク 長崎大学大学院教育学研究科等の講義等
- ケ 免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得
- コ 異校種体験研修
- サ 校長等が認める研修会・研究会等（長崎県教育委員会や県内市町教育委員会後援の研修会、長崎大学教育学部附属学校（小・中・特）研究発表会、研究指定校での研究実践・参加等）

### 長崎大学教育学部附属学校（小・中・特）での訪問研修

#### ○概要

- 1 自己の課題に応じて授業を参観し、授業づくりや学級経営の在り方等について専門性を高める。
- 2 半日から1日程度の研修とする。
- 3 研修の日時は、研修者が長崎大学教育学部附属学校（小・中・特）に希望日を伝えて調整する。
- 4 旅費は、学校負担とする。

#### ○申込方法

所属長の了解を経て、次の手順で長崎大学教育学部附属学校（小・中・特）に直接申し込む。

- 1 希望日の1か月前までに、電話で受け入れ可能な日を問い合わせる（小学校、中学校は主幹教諭、特別支援学校は教頭が窓口）。
- 2 申込用紙（様式5）に必要事項を記入し、電子メールで申し込む。



別紙2

関係文書提出期限一覧

	関係文書名	使用様式	提出期限	提出方法	備考
1	評価票	様式2	令和8年2月6日（金）	電子メール	公印、鑑 は不要
2	研修実施報告書	様式3	令和8年2月6日（金）		
3	参加延期届	様式4	参加できない事態が生じた場合に提出		

送 信 先：[npec-koukou@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:npec-koukou@pref.nagasaki.lg.jp)（「lg」はエルジー）

件 名：【中堅研】関係文書名（所属名）

ファイル名：関係文書名（所属名）

○ 様式2（評価票）の提出については、別途、パスワード等を電子メールで通知する。

## 【記入例】

## 中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 研修実施報告書

所属校名	
中堅教諭等 職・氏名	

## (1) センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R7.4.22	1	教育センター	○中堅教職員に期待すること ○教職員の服務と心構え ○教職員のためのメンタルヘルス ○ミドルリーダー的視点 ○研修の進め方

## (2) センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R7.10.2 R7.10.3	2	教育センター	○特別支援教育の在り方 ○10年間を振り返って ○カリキュラム・マネジメントについて ○教科別研修

## (3) 選択研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R7.7.9	2	〈前期〉 教育センター	教科を超えた探究的な授業づくりワークショップ〈継続－前期〉
R7.11.25		〈後期〉 □□高校（所属校）	教科を超えた探究的な授業づくりワークショップ〈継続－後期〉

※枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

## (4) 社会体験研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R7.8.5 ～ R7.8.7	3	〇〇銀行	○講話「企業が求める人材」 ○見学研修 ○現場実習

## (5) 校内研修（教科研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容	参加者・指導者
R7.9.19	1	校 内	○研究授業 ○授業研究	教科10名
・・・	・・	・・・	・・・・・・・・	・・・・・・・・

## (6) 校内研修（メンター研修）

## メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容
R7.5.9	2年目教員	○学級経営 ○学級PTAの運営について
R7.9.12	3年目教員（数学科）	○進学（就職）検討会の実施について ○定期考査の実施と評価について

※枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

# 令和7年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）様式集

※ 各様式は[県教育センターWeb サイト](#)からダウンロードできます。

様式1 自己評価票

様式2 評価票（事前評価・事後評価）

様式3 研修実施計画書・報告書

様式4 参加延期届

様式5 長崎大学教育学部附属学校（小・中・特）での訪問研修依頼書

## 中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 自己評価票

研修者氏名（ ）

視 点		事前評価	事後評価
(1) 教職に必要な素養	①法令遵守の精神を踏まえ、自ら範を示すとともに児童生徒に指導することができる		
	②人権尊重に基づいた児童生徒理解をし、指導するとともに、学校の人権教育推進のために行動することができる		
	③学年（学校）で生じている課題を把握し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる		
	④教育公務員としての自覚のもと、児童生徒への教育的愛情と学び続ける意欲をもち、組織を牽引する働きができる		
	⑤長崎県の特徴を理解し、そのよさを児童生徒たちに伝えとともに、自分たちが住んでいる地域のよさや課題について取り上げることができる		
(2) 学校運営 連携・協働	①学校教育目標を理解するとともに、学級経営、教科経営及び学年経営等の方針を策定し、同僚性や協働性を発揮しながら、積極的に実践することができる		
	②保護者、地域、関係機関等と積極的に関わり、地域とともにある学校の核として、連携・協働した対応をすることができる		
	③危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる		
(3) 教育課程 学習指導	①担当する教科等に関する専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる		
	②カリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、地域の人材等を活用するなどして、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づいた指導計画を作成し、深い学びの実現を図る単元や授業の組み立てを工夫することができる		
	③児童生徒の特性を理解し、教科等の見方・考え方を生かすなどして、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開することができる		
(4) 学級経営 児童生徒理解 生徒指導 等	①学年全体の児童生徒の実態を把握し、より望ましい集団づくりを組織的に進めることができる		
	②教育相談や日常の観察を通して、児童生徒の気持ちや行動の背景を理解することができる		
	③個々の児童生徒の状況を理解し、同僚と協力しながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる		
	④キャリア教育の視点をもって、児童生徒の夢や憧れ、志を育む学習や体験を深化させることができる		
(5) 特別支援教育	①個々の障害に対して適切に対応するとともに、特別支援教育の理念や意義を全体の教育に反映させることができる		
(6) ICTや情報・教育データの活用	①児童生徒の実態に応じた資質・能力の育成を目指し、ICTを適切に活用した授業を展開するとともに、校務の情報化を図り、効率化と教育活動の質の改善につなげることができる		
	②教育データを活用した各種システム等を児童生徒の実態に応じて適切に活用して、よりよい学びを創出する授業実践等を行うことができる		

※評価は実施細目に定めた基準で、4、3、2、1のいずれかを記入する

中堅教諭等資質向上研修（高等学校）評価票

所属校名	
中堅教諭等 職・氏名	

1 各項目に関する評価（教諭等としての資質の向上に関する指標「第2ステージ」参照）

視 点		事前評価	事後評価	特 記 事 項
(1)	教職に必要な素養			
(2)	学校運営 連携・協働			
(3)	教育課程 学習指導			
(4)	学級経営 児童生徒理解、生徒指導等			
(5)	特別支援教育			
(6)	I C Tや情報・教 育データの利活用			

2 メンターとしての資質に関する評価

--

3 今後の資質向上に関する意見

--

令和    年    月    日	
県立	学校
校長名	
(公印省略)	

学校番号	
------	--

## 中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 研修実施計画書・報告書

所属校名	
中堅教諭等 職・氏名	

## (1) センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

## (2) センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

## (3) 選択研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

※枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

## (4) 社会体験研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

※「事業所等における研修」「地域と連携した研修」のどちらを実施したかわかるように記入すること

### （5）校内研修（教科研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容	参加者・指導者

(6) 校内研修（メンター研修）

## メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容

※枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

## メンター研修の成果と課題

--

## （７）社会体験研修の成果と課題

--

※対象の研修についてすべて記入すること

令和      年      月      日  
      県立      学校  
校長名  
      (公印省略)

学校番号	
------	--

様式4

文 書 番 号  
令和 年 月 日

教育センター所長 様

学校名  
校長名  
(公印省略)

令和7年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）参加延期届

下記のとおり、研修参加を延期することを報告します。

記

1 参加者の職名・氏名・職員番号

職 名	氏 名	職 員 番 号

2 延期対象講座（あてはまる研修を■にする。選択研修が決定している場合は講座名を記入する。）

<input type="checkbox"/> 全ての研修	
<input type="checkbox"/> 校種別研修	
<input type="checkbox"/> 選択研修	講座名
<input type="checkbox"/> 校内研修	
<input type="checkbox"/> 社会体験研修	

3 研修参加予定年度

--

4 延期の理由

--



令和 年 月 日

長崎大学教育学部附属〇〇学校長 様

申し込む学校  
(小または中、特別支援)  
を記入する。

所属名  
所属長 職・氏 名  
(公印省略)

訪問研修の申込みについて

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修として、貴校への訪問研修を、下記のとおり申し込みます。

記

学 校 名	立 学校
参加者の職名・氏名	
研 修 の 日 時	令和 年 月 日 ( ) : ~ :
学 校 の 連 絡 先	電 話 ( ) - E-Mail @
通信欄	

<連絡先>

長崎大学教育学部附属 小学校	長崎大学教育学部附属 中学校	長崎大学教育学部附属 特別支援学校
<問合せ> 電 話 : 0 9 5 - 8 1 9 - 2 2 7 1 <申込み> E-Mail : <a href="mailto:nagasakifuzoku_email.nagasaki-u.ac.jp">nagasakifuzoku_email.nagasaki-u.ac.jp</a>	<問合せ> 電 話 : 0 9 5 - 8 1 9 - 2 2 7 7 <申込み> E-Mail : <a href="mailto:ngsfuzoku-jhs@giga.edu.nagasaki-u.ac.jp">ngsfuzoku-jhs@giga.edu.nagasaki-u.ac.jp</a>	<問合せ> 電 話 : 0 9 5 - 8 4 5 - 5 6 4 6 <申込み> E-Mail : <a href="mailto:nagasakifutoku@mail.nagasaki-u.ac.jp">nagasakifutoku@mail.nagasaki-u.ac.jp</a>

※小学校、中学校は主幹教諭、特別支援学校は教頭が窓口です。